

原点を大事にし、 世界からも選ばれる都市を目指して

新年度に入って1か月が経過しました。学校や職場、地域などでは新しい体制も整い、新たな目標に向かって邁進されていることと存じます。今年は桜の季節があっという間に過ぎましたが、今は新緑が鮮やかな季節になりました。今月は第3回目のわくわく江津湖フェスタも開催されます。お出かけいただき、自然環境の豊かな熊本市をぜひとも体感してみてください。

先月は初めてマレーシアを訪問しました。最近では同国だけでなく、シンガポールやインドネシアなどのいわゆるイスラム圏域からの来訪もかなり増えています。ハラル産業開発公社などとの間で覚書を締結



▲マレーシア プトラジャヤ地区の風景

し、熊本市としての受け入れ体制整備や企業などの経済交流支援などを進めていきたいと考えています。国内初の取り組みで、ハラルフレンドリーシティを目指しつつ、交流人口の増加に繋がたいと思います。また3月にはフェアトレードの国際会議が熊本市で開

市長のわくわく宅配便



催されました。アジアで初のフェアトレードシティである熊本市の存在を、ヨーロッパを中心とした世界中のフェアトレード関係者に示すことができたのではないのでしょうか。

前段で江津湖フェスタを紹介しましたが、水前寺公園周辺では地域の皆さんによる新たな動きも始まって



▲締結式の様子

います。熊本市の観光地といえば熊本城と水前寺公園の2か所が以前の定番でしたが、水前寺公園の入場者数の落ち込みになかなか歯止めがかかりません。そのことに危機感を覚えた地元の皆さんが立ち上がり、水前寺まつりが始まりました。地域の動きが活発になり、そのことで熊本の魅力が向上し、来熊者が増え、世界からも選ばれる都市になる。熊本市におけるフェアトレード運動も市民から始まったように、原点を大事にし、市民力を最大限に活かしつつ、今後も熊本市のまちづくりを進めてまいります。

熊本市長 西山 政史